

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化及び看取りに関する指針に関して	・重度化及び看取りに関する指針の内容を、職員間で共有できるように努め、尊厳に十分配慮した終末期の介護を行えるようにしていく。	・施設内研修や各ユニットの会議において、全職員に周知できるよう努めていく。 ・運営推進会議や面会時に、ご家族からの意向も定期的に伺えるよう努める。	12ヶ月
2	4	運営推進会議に関して	・少しずつ参加者も増えてきているが、近隣住民の参加が少ないため、近隣住民の参加を増やし、多様な意見をホームの運営やサービスに反映させていく。	・地域住民(警察官・郵便局員・民生委員等)に参加していただけるよう依頼していく。 ・自治体の催しへの参加や、自施設での行事に参加依頼し、活動内容に興味を持っていただき、参加を依頼していく。	12ヶ月
3	35	災害対策に関して	・地震と火災に備えた避難方法を全職員で共有できるようにしていく。 ・地域住民の方たちにも協力していただける関係作りを行っていく。	・地震時と火災時の対応マニュアルを、会議等利用し、職員間で共有できるようにする。 ・消防士立会の訓練では、消火器等の使い方についても含め知識を得られるようにする。 ・運営推進会議などで、近隣住民との交流も図れるように努める。	12ヶ月
4	11	職員の意見の反映に関して	・入居者にとってより快適な生活環境になるよう、また職員にとっても働きやすい環境となるように、話し合える環境を整えていく。	・月に一度各ユニット会議において、意見や改善案等を話し合える時間を設け、ホーム全体の課題となる内容のものを管理者が把握し、必要に応じて管理者会議等経営層との話し合いの場で、意見や提案ができるようにしていく。	12ヶ月
5		職員に関して	・職員の技術及び知識の向上に努める。	・各ユニット会議で時間を作ったり、施設内研修の時間を設けたりしていく。 ・外部研修や、他施設への実習等への参加の機会を設け、職員に働きかけていく。	12ヶ月